

# 平成 26 年 2 月 2 日 主日礼拝

礼拝開始: 午前 11 時

誕生祝福式

司 会 : 赤塚敏郎兄  
奏 楽 : 片岡立子姉  
おいのり : 加藤由美子姉  
さんび : 新聖歌 21 「輝く日を仰ぐ時」  
使徒信条  
聖 書 : 創世記 3 章 20 ~ 24 節 (P.4)  
(朗読: 持田樹理姉)  
音 楽 : 倉知 契 牧師  
メッセージ : 「追放という名の愛」 倉知 契牧師  
さんびと 献金 : ♪ 聖歌 656 「感謝します」  
頌 栄 : ♪ 新聖歌 63 「父御子御霊の」  
祝 禱  
報 告

## 【瀬戸ニュース】

- ◇ 2月16日(日)は特別オープン礼拝。家族や友人を教会へ。  
分かりやすく礼拝+愛餐会+チョコパーティです。甘い一日!
- ◇ 土曜祈禱会で祝福・いやしを体験しませんか? 11時15分~
- ◇ 3月23日東京リニューアル(大川牧師)のためにお祈りください。
- ◇ 今週も祈禱会を大切に!  
木曜10時半 / 土曜掃除10時半・祈禱会11時15分
- ◇ 祝大 A: マタイ 18 章~21 章 B: 出エジプト記 11 章~28 章

◇次聖日礼拝奉仕者 [2014年2月9日]  
[司会: 小木秀夫兄、いのり: 平松友子姉、聖書朗読: 赤塚孝子姉]  
[ピアノ: 倉知契牧師、リード: 大神 雄兄、  
アシスト: 大神久美姉、鄭 恵真姉 ]  
[献金: 赤塚孝子姉、受付: 加藤由美子姉]  
◇PA: 平松章治兄 ◇週報編集: 片岡洋一兄  
◇ホームページ編集: 大神真伸兄 ◇日曜学校: 倉知契牧師



小学生の時分、画家・安野光雅氏の絵本をよく読みました。読んだと言っても字のない絵本が多く、「ふしぎなえ」「もりのえほん」そして「旅の絵本」シリーズは何時間も、字のない物語の中にのめり込んだものです。お子様、お孫さんにお奨めです。その安野光雅さんが、「美の幾何学」(早川書房)で、物理学者の伏見康治さんと数学者の中村義作さんと対談しています。凡人(私のこと)の頭では到底理解できない幾何学の話の最後にこんな文章がありました。

そうですね。創造性は頭の中の問題のように見えるけれども、その手がかりはむしろ手や目を動かすことにある、といえそうですね。ご飯を炊くことだって、大根一つ切ることだって、とくに小さな子どもにとってはそうですね。何もかもが初めての出会いなので。いままでの人が全部やりつくしてしまっていたら、後からくるものには創造の余地がないかのように思われるけれども、そうじゃなくて、新しい経験は、その子にとってはすべて創造的だと見てもいい。そういうものの積み重ねが、将来の大きな創造につながるんじゃないかと思うんです。(美の幾何学P.269)

もうすでに「答え」はあったとしても、そこに新しい法則や数式を見出すかのように向き合えば、創造の余地がある。礼拝に来ること、教会で奉仕することも、ずっと前からしてきたかもしれませんが、けして同じことの繰り返しではなく、そこに「創造的」なものが潜んでいるのだ、そう考えると毎週が楽しくなりますね。聖書はとくに、安野光雅さんの絵本とは違って字ばかりですが、その中に、その人固有の出逢いが隠されているのです。今年こそ、世界のベストセラーをじっくり味わいたいと願います。百万人の福音1月号から「聖書が身につく人」の特集をコピーしてきました。私はスマホで「YouVersion」という無料アプリを使っています。口語訳・リビングバイブル+30種類以上の英語の聖書を読むことができます。音声も聴けます。どんな形でも、いつもみ言葉を手元に置いて生活すると祝福されます。さあ幾何学そのものを創造した「神の美」を堪能すべく、最初の一ページをめくりましょう!

「つるぎよ、立ち上がってわが牧者を攻めよ。牧者を撃て、その羊は散る。」

ゼカリヤ十三章七節(抜粋)